

主の昇天 使徒1:3-12	2026. 5. 3、柏教会、NO. 772 春日部福音自由教会 山田豊
---------------	---

西方キリスト教会の暦では、本日 17 日が主の昇天を記念する主日、来週 24 日がペンテコステ、聖霊降臨日です。聖霊が弟子たちに臨む前の出来事を、み言葉から教えられたいと思います。

柏教会の礼拝でも唱和されている使徒信条では、次のように告白されています。「死にて葬られ、陰府（よみ）に下り、三日目に死人のうちよりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座したまえり。」とあります。カトリック教会では「十字架につけられて死に、葬られ、陰府（よみ）に下り、三日目に死者のうちから復活し、天に昇って、全能の父である神の右の座に着き、生者（せいしゃ）と死者を裁くために来られます。」となっています。

「天にも昇る気持ち」とは高揚した気分を表す言い方ですが、実際に人が天に昇ることは、ありません。イエスの昇天を信じるのは、使徒信条が告白しているように、イエスの十字架の死、葬りと復活は、昇天に導くイエスの物語として、聖書に書かれているからです。

なぜイエスの昇天は、大事な出来事なのでしょう？まず第一に、イエスは父なる神の右の座に就くべきお方であるからです。それは、イエスこそが教会の頭、権威者であることを表しています(エペソ 1:20-22)。それとともに、父の右にいて私たちのためにとりなしてくださるから、祭司としての役割も果たして下さっているのです(ローマ 8:34)。第2に、イエスが私たちとともにいてくださるために、昇天されたのです。しかしこれはおかしいのではないか、いなくなったのになぜともにいるといえるのか、といぶかる方もあるでしょう。実は、イエスは弟子たちに、ご自分が去っていくことによりもう一人の助け主、聖霊が遣わされて、信じる者とともにいてくださることを生前語っていたのです。風が思いのままに吹くように、今や聖霊の風が吹いて、イエスを信じる者は自分で気が付かなくても、共にいてくださることを知ることができるのです(ヨハネ 14:16-17)。そして第3には、み使いが語ったように、イエスが再び来られるためなのです(8節)。これは不思議なことです。主の昇天に続いて、主の再臨まで、聖書の語っていることとして信仰によって受け入れることではあります。これが、私たちの今生きている力となり、未来への希望となるのです。人間の時間的感覚を超えています(2ペテロ 3:8-13)。

あなたが天を見上げるとき、そこから主イエスが再びおいでになり、新しい天と新しい地となることを、期待したいものです。

引用聖句

ヨハネ 3:8 風は思いのままに吹きます。その音を聞いても、それがどこから来てどこへ行くのか分かりません。御霊によって生まれた者もみな、それと同じです。」

エペソ 1:20-22 この大能の力を神はキリストのうちに働かせて、キリストを死者の中からよみがえらせ、天上でご自分の右の座に着かせて、21 すべての支配、権威、権力、主権の上に、また、今の世だけでなく、次に来る世においても、となえられるすべての名の上に置かれました。22 また、神はすべてのものをキリストの足の下に従わせ、キリストを、すべてのものの上に立つかしらとして教会に与えられました。

ローマ 8:34 だれが、私たちを罪ありとするのですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、しかも私たちのために、とりなしていてくださるのです。

ヘブル 7:23-25 また、レビの子らの場合は、死ということがあるために、務めにいつまでもとどまることができず、大勢の者が祭司となっていますが、24 イエスは永遠に存在されるので、変わることはない祭司職を持っておられます。25 したがってイエスは、いつも生きていて、彼らのためにとりなしをしておられるので、ご自分によって神に近づく人々を完全に救うことができになります。

黙示 5:6-7 また私は、御座と四つの生き物の真ん中、長老たちの真ん中に、屠られた姿で子羊が立っているのを見た。それは七つの角と七つの目を持っていた。その目は、全地に遣わされた神の七つの御霊であった。7 子羊は来て、御座に着いておられる方の右の手から巻物を受け取った。

マタイ 28:20 わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」

ヨハネ 14:16-17 そしてわたしが父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与えくださり、その助け主がいつまでも、あなたがたとともにいるようにしてください。17 この方は真理の御霊です。世はこの方を見ることも知ることのないので、受け入れることができません。あなたがたは、この方を知っています。この方はあなたがたとともにおられ、また、あなたがたのうちにおられるようになるのです。

2 ペテロ 3:8-13 しかし、愛する人たち、あなたがたはこの一つのことを見落としてはいけません。主の御前では、一日は千年のようであり、千年は一日のようです。9 主は、ある人たちが遅れていると思っているように、約束したことを遅らせているのではなく、あなたがたに対して忍耐しておられるのです。だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。10 しかし、主の日は盗人のようにやって来ます。その日、天は大きな響きを立て

て消え去り、天の万象は焼けて崩れ去り、地と地にある働きはなくなってしまう。11 このように、これらすべてのものが崩れ去るのだとすれば、あなたがたは、どれほど聖なる敬虔な生き方をしなければならないことでしょう。12 そのようにして、神の日が来るのを待ち望み、到来を早めなければなりません。その日の到来によって、天は燃え崩れ、天の万象は焼け溶けてしまいます。13 しかし私たちは、神の約束にしたがって、義の宿る新しい天と新しい地を待ち望んでいます。